

科目名	コンサートプロダクト2								年度	2024
英語科目名	Concert Product 2								学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート制作コース 1年次	必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習	
担当教員	山本璃空	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロデューサー、メディアクリエイター			
【科目の目的】										
実習を通してコンサート制作スタッフとしての業務の内容を理解する。また、イベント企画に必要な発想力やプレゼンテーション能力やコミュニケーション力を高める。コンサート制作スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーション能力を身につけることを目的とする、										
【科目の概要】										
<コンサート制作コース> コンセプトメイキングやライブ会場の研究など、企画書作成のノウハウを学びます。										
【到達目標】										
A. コン서트制作コース内の役割を理解し適切に作業の分担ができる B. 全学生スタッフとの決起集会の開催の重要性が理解できる C. 出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングの重要性を理解し開催できる D. 片柳記念ホール実習ライブを実施計画通りに開催できる E. 修了公演を実施計画通りに開催できる										
【授業の注意点】										
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力		
到達目標 A	コンサート制作コース内の役割を理解し適切に作業の分担ができる			コンサート制作コース内の役割を理解し作業の分担ができる				コンサート制作コース内の役割分担の理解が乏しい		
到達目標 B	全学生スタッフとの決起集会の開催の重要性が理解できる			全学生スタッフとの決起集会の開催ができる				全学生スタッフとの決起集会の開催の重要性の理解が乏しい		
到達目標 C	出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングの重要性を理解し開催できる			出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングを開催できる				出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングの重要性の理解が乏しい		
到達目標 D	片柳記念ホール実習ライブを実施計画通りに開催できる			片柳記念ホール実習ライブの開催ができる				片柳記念ホール実習ライブ開催中のトラブルやイレギュラー対応ができない		
到達目標 E	修了公演を実施計画通りに開催できる			修了公演の開催ができる				修了公演開催中のトラブルやイレギュラー対応ができない		
【教科書】										
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
＊グレードテストを定期的に行う。 ＊授業内容の理解度を確保するために実施する。 ＊積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

